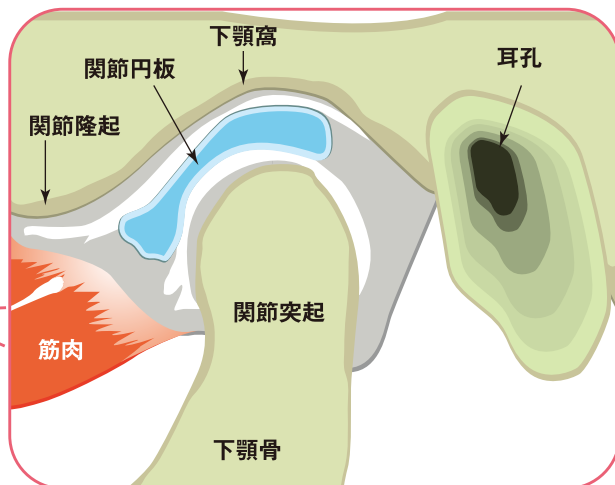


# 女性に多い顎関節症

が く か ん せ つ し ょ う

## ■ 顎関節とは？

顎関節は、頭蓋骨（ずがいこつ）のくぼみと下あごの骨の突起によって構成されています。この2つの骨の間にクッションとして関節円板（かんせつえんばん）があり、筋肉と靱帯（じんたい）が取り巻いています。それらがスムーズに機能することによって、食べ物をかんだり話をしたりすることができます。



## ■ 症状は？

3つの特徴的な症状があります。

- 1 顎（あご）の関節の痛み
- 2 顎（あご）を動かすと耳の前で“カクン”とか“ジャリ”という音がする
- 3 口を大きく開けることができない

3つ全てが症状に現れる場合や、1つだけの場合もあります。

## ■ 原因は？

くいしばりや歯ぎしりは、知らず知らずのうちに顎関節やその周囲の筋肉に負担をかけることになり、それらが長期にわたると症状がでる場合があります。また、歯が抜けたままになっていたり、かみ合わせが悪かったりすると顎関節症の原因になるといわれています。さらに、うつぶせ寝や頬杖（ほおづえ）をつく癖など、日常生活の中にも原因があるとされていますが、顎関節症の発病には多くの要因が関係しており明確な原因は不明のままです。

## 予防から 検査・治療法まで

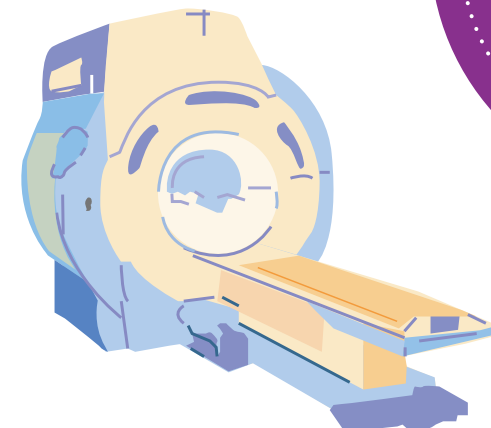
顎関節症（がくかんせつしょう）は、子どもから高齢者まで幅広く見られる病気ですが、特に20～30代の女性に多いといわれています。本院の歯科診療部門を訪れる新来患者さんのうち、虫歯や歯周病に次いで多く、年間約400名（全体の15%程度）が治療を受けています。歯科放射線専門医による確実な画像診断が顎関節症の治療に不可欠です。日常生活に支障をきたす前に適切な検査を！

## ■ 顎関節症の検査・治療方法

### ● 検査

最初に、困っている症状やこれまでの経過の詳しい聞き取りを行います。次に、顎関節部の触診や口の中のかみ合わせを含めた状態を確認します。

顎関節症で最も一般的な検査法は、パノラマX線検査法です。パノラマX線検査では、顎関節の骨の様子を診断することができるほか、顎関節以外に原因がないかということが確認できます。さらに詳しい検査が必要な時は、CT検査やMRI検査が行われます。特に、MRI検査は被曝がなく、顎関節円板と骨の状態を同時に診断することができます。検査時間は20分程度で検査中の痛みもありません。



### ● 治療

痛みが強い場合は、痛みを和らげる薬が処方されます。症状が安定したら、無理のない程度に口を動かす練習や入れ歯のようなマウスピースを付けてかみ合わせの調整を行います。ただし歯並びの状態や症状の強さなど、患者さんによって必要な治療方法は異なります。このような治療を続けても十分な効果が得られない場合には、顎関節腔（がくかんせつくう）洗浄療法（せんじょうりょうほう）などの外科的手術が行われる場合もあります。

### 予防法

「無意識のうちに歯をくいしばらない」、「パソコン作業の際に適切な姿勢を保つ」、「ストレスがたまらないような生活に努める」ことが大事です。



■ 説明は  
徳島大学病院 歯科  
細木 秀彦（ほそき ひでひこ）  
総務医長／外来医長  
■ 問い合わせ  
Tel. 088-633-7375（歯科放射線科外来）